



美しく碧きドナウを 10/12 に向けて練習!!

8月22の練習から

発声: (アアアア)・鼻の穴の中をしっかりと開けて、そこに息を吹き込む感じで声を出す。弱々しい声にならない様に。柔らかく合わせる。

- ・男性は下降から上昇へ、女性は上昇から下降へ。着地点がきれいにそろとういい。
- (りーりーりー)・Bas は、初めの音のまま、音下がらない様に歌う。同じ音が続くとき、出した音から次の音を出さないと、音が下がってしまう。

美しく碧きドナウ:

- ・何を歌っているかしっかり認識して歌うこと。
- ・男性の出だしの (はるかにー) はとてもいい。(にー) で a tempo。女性は、(は) の H をきかせて。音が鳴らないうちに終わってしまう。音感長く。
- ・3拍子で進んでいるが、拍の数え間違いで入れないでいるところが後半に行くほど多い。
- ・p7 (つねにーながーれるー) の (に) と (が) にアクセントあり。(る) の音は、Sp より Alt の方が高い。
- ・p11 (ウイ) は、拍の頭でいうことに統一。
- ・p15 (そのむかしの) の入りを揃えるためゆるくするので、指揮を見ること。(そ) は S を準備して前に出して歌うこと。
- ・p15 (あでなる ひめぎみ) では、言葉の繋がり方に注意。意味を考えて歌う事。
- ・p16 (たけきぶしのー) では、音を切りすぎない事。
- ・p17 (こだましーた) のあとフェルマータをかけ、ピアノが半拍先行して入り、(ひもあろうー) と入る。指揮をよく見て。
- ・p18 (ありーしころをしのでー) では、(し) と (こ) がタイになっているが、(こ) で歌い直して。
- ・P18 (ありーしころをしのでー) から Solo とかいてあるが、皆で歌って。
- ・p18 (たこんのーしじーんはー) の (し) をはっきりと。
- ・p19 (ほとりをー) はクレッシェンド。空気を動かすつもりで音量があるといい。(ほ) は言い直す。
- ・p21 (えがきだそうよー) のあとピアノの (ジャーン) という音をきいてから、(ドナウ) と入るので注意。
- ・p23 (みづはー) はゆるく入るので、指揮を見て。
- ・p24 (ドナウはー) の1回目の音がしっかり上がりきらないと Sp が薄くなる。ここは Sp しか歌詞がないところなのでしっかり歌って。
- ・p26 (たたえてうたう) の Bas と Ten のリズムに注意。
- ・p27 (うつくしくー) の Sp は、他のパートの歌詞がないので、もっとしゃべる。
- ・p28 の最後の (ドナウのーうたをー) の (をー) は、長くない方がいいのでスパッと切る。指揮を見て。



水のいのち:

- ・「雨」は、5曲の内です序曲のようなイメージで歌って